

生活実技講座ピックアップ

教養講座以外にも多数の生活実技講座をご用意しています! (詳しくは<http://fuchu.shogaigakushu.jp/>をご覧ください)

講座No.9 日本画入門「日本画ならではの桜を描く」

【日程】4/4・11・18・25、5/9・16(火曜・全6回)13:30～16:30
 【会場】学習センター美術室 【定員】16名 【受講料】13,500円
 【講師】日本画家 浅岡 博司氏

初心者から経験者までどなたでも受講できます。今回は野外(府中の森公園)スケッチをします。日本画材(顔料、胡粉、水干絵具)を使用して日本画ならではの桜のある風景を描きます。※別途持ち物有り

講座No.14 オカリナを奏でよう!

【日程】4/10・17・24、5/8・22・29、6/12・26(月曜・全8回)10:00～12:00
 【会場】学習センタースタジオ 【定員】20名 【受講料】8,000円
 【講師】フルート・オカリナ奏者・講師 畠山 美津子氏

手軽に音楽をはじめたい方におすすめのオカリナ。ドレミから、おなじみの唱歌の演奏まで丁寧に指導します。※オカリナ各自持参(C調)。または講座にて紹介購入手配可(陶器製:6,500円+税、プラスチック製:3,200円+税)。但し、初回のみ無料レンタルあり。

講座No.25 足裏分析!簡単足つぼ入門教室

【日程】5/10・17・31、6/7・14(水曜・全5回)10:00～12:00
 【会場】学習センター研修室 【定員】40名 【受講料】6,000円
 【講師】国際リフレクソロジスト 瀧沢 美基子氏

足裏は体の不調が映し出される、身体の縮図と言われています。「自分の健康は自分で守る!」ための自宅でも簡単に出来る足つぼセルフケアを中心に学びます。足もみ棒つき。

※生活実技講座のお申込み方法は教養講座と異なりますのでご注意ください。

▶教養講座お申込み方法(先着順)

※先着順でお申込みを受け付けます。定員に達し次第募集を締め切ります。※他の生活実技講座・スポーツ講座とお申込み方法が異なります。

- 【窓口】府中市生涯学習センター総合受付
- 【web】<http://fuchu.shogaigakushu.jp>
「講座申込みシステム」(要初回登録)でご予約ください。
- 【電話予約】講座専用：☎050-3491-9849
※電話予約は3月20日(月)より

Web・電話での予約後は下記の方法でお支払いください。

- 生涯学習センター窓口…お申込み後1週間以内に総合受付へご来館ください。
- お振込…下記いずれかの口座へお振込み下さい(振込手数料はご負担ください)。
 - 三菱東京UFJ銀行 府中支店 (普)0287200
【名義】株式会社コンベンションリンクージ
 - ゆうちょ銀行 【記号】10190 【口座番号】39301571
【名義】ふちゅう生涯学習センター共同事業体

※お支払い後は、お申込み講座の変更・譲渡・受講料の返金はできません。

【生活実技講座お申込み方法】

【1次募集期間】2月1日(水)～2月28日(火)
 ウェブサイト「講座申込みシステム」から応募、または往復はがきに
 ①希望講座番号②講座名③氏名、性別④ご住所⑤電話番号⑥生年月日をご記入の上、生涯学習センターへ郵送
 【随時申込み期間】3月19日(日)～ ※満員になっていない講座のみ
 ご来館または3月20日(月)より講座専用☎050-3491-9849で受付

講座No.10 はじめての絵てがみ

【日程】4/5・12、5/10、6/7・14(水曜・全5回)13:00～15:00
 【会場】学習センター工房 【定員】15名 【受講料】4,000円
 【講師】絵てがみ講師 花沢 長子氏

温もりのある絵てがみを描いてみませんか?絵の経験がまったくない方でも楽しく取り組んでいただけるよう丁寧に指導いたします。
 ※教材費(希望者のみ別途):3000円

講座No.22 和裁入門～子どもの浴衣・甚平・はっぴ作り

【日程】4/20、5/11・18、6/1・8・22・29、7/6(木曜・全8回)10:00～12:00
 【会場】学習センター工房 【定員】24名 【受講料】7,000円
 【講師】NPO法人縫和楽プロジェクト理事 和裁士 渡会 良寛氏

わが子・孫のために浴衣(甚平)またははっぴを作りませんか?ひと針ひと針の努力が子どもの笑顔に変わります。どれを作るかは選んでいただけます。持ち物:裁縫道具
 ※反物代は別途。初回にサンプルからお選びいただくか、ご自分でお手配いただけます。



講座No.33 パソコンで描く水彩講座(水彩8使用)

【日程】4/11～8/1(隔週火・全9回)10:00～12:00
 【会場】学習センターパソコン学習室 【定員】15名 【受講料】9,000円
 【講師】電彩アート認定講師 金岡 健二氏

「水彩8」というソフトを使用した、手軽に水彩画を描く楽しさが味わえるパソコン絵画教室です。絵心は必要ありません。今年の暑中見舞いはパソコン絵画で!幅広く活用できます。



【交通アクセス】



- 京王線 東府中駅下車
「ちゅうバス」(多磨町ルート) 府中駅「生涯学習センター」停留所下車
- 京王線 府中駅下車
「ちゅうバス」(多磨町ルート) 多磨町「生涯学習センター」停留所下車
京王バス 武蔵小金井駅行(一本木経由)「天神町二丁目」下車徒歩7分
- JR 中央線 武蔵小金井駅下車
京王バス 東府中駅行「若松町四丁目」停留所下車徒歩3分

府中市生涯学習センター (講座受付9:00～20:30)

〒183-0001 東京都府中市浅間町1-7

☎042-336-5700(代表)

【休館日】毎月第1月曜日(祝日の場合は次の平日)、3月15日(水)・16日(木)

春の開講講座
ラインナップのご案内

2017
4・6
[spring]

講座No.5

小遊三と歌若が語る!
「落語って面白い」

落語の魅力や楽しみ方を当代きっての人気落語家がお伝えします! 歌若師匠がナビゲーターとなり、小遊三師匠へ「落語の楽しみ方」について質問していきます。講座の最後には小遊三師匠による一席も!!

【開講日】5月9日(火)14:00～16:00

【会 場】府中市生涯学習センター講堂

【受講料】1,000円

【定 員】290名(先着順・自由席)

【講 師】小遊亭 小遊三 落語家
桂 歌若 落語家



講座No.6

～人が輝くおもてなしの原点～

【開講日】5月21日(日)14:00～16:00

【会 場】府中市生涯学習センター講堂

【受講料】700円

【定 員】290名(先着順・自由席)

【講 師】高野 登氏

元ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー日本支社支社長、人とホスピタリティ研究所代表

リッツ・カールトンは1984年の創業以来、自らをホテル産業ではなく、「感動創造産業」と位置付け、さまざまな取り組みをしまりました。そしてお蔭様で、多くのファンの皆さんの支持を得ております。

今回は、全社員がいきいきと輝いている秘密や、舞台裏で何が起きているのかを「おもてなし」というキーワードで、紐解いてみたいと思います。

仕事や生活などの場面で自分がどうすれば価値ある存在になれるのか、原点に立ち振り返り見直していませんか。



お申込み方法の詳細は4面(裏表紙)をご覧ください。

※開場時間は講座開始の30分前です。 ※特別に記載のない限り、平成14年4月1日以前生まれの方が対象となります。

足立さつきの楽しいクラシック講座

オペラ歌手の観点から様々な「クラシック音楽」を取り上げ、親しみやすいトークでその魅力を解説します。

各回内容	
第1回	音楽の基礎知識を学ぼう&声の基礎知識
第2回	フィレンツェ&ヴェネチア音楽巡り
第3回	ウィーンで奏でられた名曲の数々を共に
第4回	サウンド・オブ・ミュージックの作曲者、R・ロジャース物語
第5回	CMなどで使われるクラシックの名曲たち
第6回	お楽しみ企画

〔開講日〕4月5日・19日、5月10日・24日、6月7日・21日 〔水〕
14:00～16:00 〔全6回〕

〔会 場〕府中市生涯学習センター講堂

〔受講料〕3,000円 〔定 員〕290名(先着順)

〔講 師〕足立 さつき氏 オペラ歌手



足立さつき

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1986年第3回ニッパ椿姫新人賞第1位を受賞。1987年「椿姫」のヴィオレッタ役でオペラ・デビュー。以後、「こうもり」のアデーレ、「フィガロの結婚」のスザンナ、「リゴレット」のジルダなど様々なオペラに出演し、清冽な声と華のある舞台姿でいずれも好評を博している。リサイタルや主要オーケストラとの共演、オペラへの出演のみならず、テレビ出演等ジャンルにとらわれず幅広く活躍、近年は後進の指導や合唱指揮者としての活動も行う。1992年村松賞受賞。平成16年度兵庫県芸術奨励賞受賞。

NHK交響楽団員によるクラシック講座(コンサート付き)

国内トップクラスの演奏家が交代で講師を担当し、トークと演奏でクラシック音楽の魅力を伝えます。講座に加え、最終回ではN響メンバーによる弦楽四重奏コンサートを鑑賞します。

各回内容	
第1回	中村 翔太郎氏(ヴィオラ)
第2回	山本 英司氏(トランペット)
第3回	青山 聖樹氏(オーボエ)
第4回	降旗 貴雄氏(ヴァイオリン)
第5回	調整中
第6回	山岸 努氏(ヴァイオリン)
第7回	府中の森芸術劇場でのコンサート鑑賞 「プロムナードコンサートVol.217～N響メンバーによる弦楽四重奏～」 第1ヴァイオリン:森田 昌弘氏/第2ヴァイオリン:小林 玉紀氏/ ヴィオラ:坂口 弦太郎氏/チェロ:渡邊 方子氏



〔開講日〕4月10日・17日・24日、
5月15日・22日・29日 〔月〕
6月10日 〔土〕
14:00～16:00 〔全7回〕

〔会 場〕府中市生涯学習センター講堂

※6月10日最終回のみ

〔時間〕14:00～15:00

〔会場〕府中の森芸術劇場ウィーンホール

〔受講料〕3,500円

〔定 員〕290名(先着順・自由席)

入門古代史

ー「日本」はどのようにしてはじまったのかー

「日本」と呼ばれる国、「天皇」と呼ばれる王、そして「神道」と呼ばれる宗教。これら、日本という国の骨組みをなす存在がどのように形成されてきたか、古代の日本を振り返る講座。



〔開講日〕4月15日・22日、5月6日 〔土〕
14:00～16:00 〔全3回〕

〔会 場〕府中市生涯学習センター講堂

〔受講料〕1,500円 〔定 員〕290名
(先着順・自由席)

〔講 師〕深澤 太郎氏 國學院大學准教授

2007年に國學院大學大学院文学研究科博士課程修了後、國學院大學文学部の考古学研究室の助手に就任、その後、2009年から研究開発推進機構助教として、数々の遺跡の発掘調査に携わる。2015年より現職。

各回内容	
第1回	「日本」誕生 ― 国家形成の考古学 ― 100余国ものクニグニが割拠していた弥生時代の「倭」。そこから、どのようにして「日本」という国家が形成されてきたのか? 地域色豊かな弥生時代から前方後円墳の時代である古墳時代を経て、律令国家の確立までを通観する。
第2回	「天皇」誕生 ― 王権形成の考古学 ― 倭の王が「天皇」と呼ばれるまでになっっていくには、どのような曲折があったのか。
第3回	「神道」誕生 ― 神道形成の考古学 ― 日本独自の信仰とされる「神道」とは、いったいどのような宗教なのか。

西洋美術講座

「象徴と幻想の画家たち」

19世紀は「印象派の時代」などと言われますが、印象派が「今」眼前に見えているものを描くことを追求した一方では、目に見えない人間の内面を重視し、そこから紡ぎ出される情念を形象化するという魅惑的な絵画の流れがありました。今回は、モロー、ルドン、セガンティーニ、ロセッティらの幻想的な象徴主義絵画と、ロートレック、ムンク、クリムトらの個性的な世紀末絵画を取り上げ、その特徴と魅力を紹介します。

各回内容	
第1回	モローとルドン ～象徴主義の系譜～
第2回	セガンティーニ ～アルプスに魅せられた画家～
第3回	ロセッティとラファエル前派 ～魅惑の英国ヴィクトリア朝絵画～
第4回	ロートレック ～モンマルトルの哀歓～
第5回	ムンク ～北欧・魂の告白～
第6回	クリムト ～ウィーン世紀末幻影～

〔開講日〕5月13日・20日・27日、
6月3日・10日・17日 〔土〕
14:00～16:00 〔全6回〕

〔会 場〕府中市生涯学習センター講堂

〔受講料〕3,000円 〔定 員〕290名
(先着順・自由席)

〔講 師〕斎藤 陽一氏 美術ジャーナリスト



斎藤 陽一

東京大学教養学部フランス学科卒業、ならびに同・国際関係論科卒業。NHKでプロデューサーとして数々のスペシャル番組・美術番組を制作。草創期の「日曜美術館」、「日本の美」、「美術ドキュメンタリー」、国際共同制作による大型番組シリーズ「ルーブル美術館」「オルセー美術館」「エルミタージュ美術館」等を制作。NHKチーフ・プロデューサー、番組部長、局長等を歴任。NHK退職後は「美術の面白さを多くの人に伝えたい」と各地で講演・講義活動を行っている。著書に『ルーブル美術館』第1巻～第6巻(NHK出版)、『折々の句:武蔵野』など。美術史学会会員。

